

○中里 重則 会員

最近のボケとか一人暮らしの老人の看護と言われてますが、その前に相当長期間あります二人きりの共存関係というのが、非常に大事な期間ではないかと思ひます。若い会員の方は今から準備されたほうがよいと思ひます。60才の声を聞くとそういう共存関係というのが大事になってきます。私が60才の声を聞いたときに、家内に30年間言うことを聞いてきたので、今度私の言うことを聞かないと覚悟があると言われてました。言われたのがマージャンか煙草を止めると言われまして、マージャン止めたら生きていくかがないので、煙草を止めました。今優位に立っている会員の皆さんも、将来のことを考えて5年・10年計画で準備されたらと思ひます。

◎飯田 貢一 会長報告

会場変更の件ですが、会員数は66名おりますが、回答が73枚きております。この回答の中にコピーが10数枚あります。私はこれを無効とします。本来であればこの場所で発表すればいいんですが、臨時理事会で決めます。

◎ 出席報告

会 員 数	66名	出 席 率	函 館 北 2月 8日	93.65
出 席	49名		函 館 東 2月 7日	91.55
欠 席	17名		函 館 2月 2日	90.91
他クラブ出席	10名		函館五稜郭 2月 3日	100.00
出席合計	59名		函館亀田 2月16日	86.67
除 外 者	3名			

次回・3月1日
プログラム

「会 員 卓 話」

南 木 哲 雄 幹 事

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

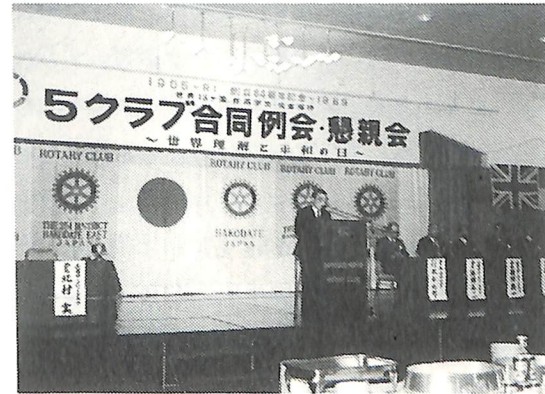


函館北ロータリークラブ会報

ロイス・アビー 国際ロータリー会長テーマ

PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を



5クラブ合同例会

《第1241回例会》 第34号 3月1日(水)

本日のプログラム

「会 員 卓 話」

南木 哲雄 幹事

★会 長 飯田 貢一 ★幹 事 南木 哲雄

1988~1989

〈第1240回例会〉第33号

2月23日の記録

- ◎司会 石田 勉(函館R.C.) ◎斉唱 君が代、奉仕の理想
 ◎ビジター 森R.C.梅津茂樹君他1名、江差R.C.棚田 清君他2名、
 松前R.C.福原栄一君他1名
 ◎ゲスト 北海道大学水産学部教授 松永 勝彦氏

◎今月は、ロータリークラブの「世界理解月間」と定められ、また本日23日は「世界理解と平和の日」とされていることから、函館ロータリークラブが主催して、市内5クラブ合同例会が2月23日国際ホテルで開催されました。

当日は、市内で生活している外国からの留学生や教師を招き、会員との懇談のなかから、お互いの理解を深めてもらおうとの趣旨で、13ヶ国22名の留学生と、ゲストとしておいでいただいた北大水産学部松永教授、また、ビジターとして森・江差・松前のロータリークラブからも出席していただき、240名のメンバーと共に、なごやかな一時を過ごしました。当北クラブからも33名が出席しました。

函館ロータリークラブ会員石田 勉君の司会により、北村 実 函館ロータリークラブ会長のあいさつで始まり、続いて太宰六郎パストガバナーの84周年にちなんでのスピーチの後、松永教授の音頭で乾杯し、会食・懇談へと入っていきました。

ホテルが腕によりをかけて作ったという、世界10数カ国24種の料理を味わい、サッポロ・ローレライバンドによる世界の音楽演奏を楽しみながら、各テーブルでは留学生を交えて、会話がはずんでいました。

余興では、留学生によるジャンケン大会が行なわれましたが、ジャンケンにも国による違いが見られ、テーマの通り大いに国際色豊かな一夜となりました。

最後に全員で大きな輪をつくり「手に手つないで」を合唱し、友好の「輪」を広げ散会となりました。

なお、当日の午後6時45分からのNHKニュースネットでの模様が生放映

されました。

◎会長挨拶 北村 実 函館R.C.会長

本日は函館市内5クラブ合同例会に、市内におられる外国からの留学生や教師の皆さんをお招きして、食事をともにしながら一夜を有意義に過ごすという企画に、多数のご出席をいただきましたことありがとうございました。

ロータリーとして、今月は「世界理解月間」と定められ、且、ロータリー創始84周年にあたる本日、23日は「世界理解と平和の日」とされています。世界各国の親善と平和を推進するのは、ロータリーの奉仕の一つの柱であり、その基本となるのは国民の相互理解であります。

21世紀を目前にしている我国にとって、情報化・高令化・国際化という大きな問題があります。その中で特に「国際化」ということを取り上げてみても、物・金・情報、そして「人」が問題となるわけですが、日本にとっては、何といても人の面の国際化が大きな課題であろうといわれます。

日本がこれだけ国際化・相互依存の高まった世界の中で、最も必要なのは「共に生きる」ということ、相手の立場に対する思いやり、さらにその前提として相手側がどういう考え方をもち、感じ方をするのかということについて、知的関心つまり自分と違うものに対する好奇心を強く持つことが大切だと思います。

また、日本社会の閉鎖性ということが問題にされております。世界の中の日本とか、アジアの中の日本という発想を常にわたくし達の意識として持つておかねばなりません。そうしないと「いつも日本人は日本のことしか考えていない」ということになると思います。

函館は歴史的にも外国との交流が盛んな土地柄であります。外国人学生を受入れることによって、異文化を理解しようという態度を示すことから始めていかなければと考えますし、さらに地域ぐるみでおつき合いしなければならないと考えます。

本日は、留学生のみなさんから、その生活と考え方をいろいろ話し合ってもらい勉強したいと思います。



◎ 出席報告

会 員 数	66名	出 席 率	函 館 北 2月15日	9 5.24
出 席 席	43名		函 館 東 2月14日	9 2.96
欠 席 席	23名		函 館 2月 9日	9 0.90
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 2月10日	10 0.00
出席合計	60名		函館亀田 2月13日	8 4.44
除 外 者	3名			

次回・3月8日
プログラム

「卓 話」

中国留学生 姜 亜 歆 氏

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1988～1989

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ロイス・アビー 国際ロータリー会長テーマ

PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を



ハリストス正教会 椎谷 龍彦 会員

《第1242回例会》 第35号 3月8日(水)

本日のプログラム

卓話「相似の東洋人」

中国留学生 姜 亜 歆 氏

★会 長 飯田 貢一

★幹 事 南木 哲雄